



1. 子育て支援施設の運営

(1) およこの広場びーのびーの(菊名ひろば)(横浜市こども青少年局委託事業 親と子のつどいの広場事業)

- ①ひろばは「もうひとつの家」としてみんなが一緒に育ちあい、子どもたちを見合い、子どもの日常を大切にしたい場づくりをおこなった。
- ②スタッフは利用する親子とのコミュニケーションを大切に、必要な支援をすることで子どもたちがありのまま育っていただけるようサポートを心がけた。
- ③地域でおこなっているサロンやプログラムに積極的に向いたり地域の子育て関係者の方にひろばに来ていただき地域のことを学ぶ機会をつくりつなごうとした。
- ④子育て支援に興味があるインターン生の受け入れをおこない日常のひろばで活動しながら子育てや地域の活動に興味を持ってもらうことで次世代の子育て支援者育成につながるよう努めた。
- ⑤ひろば一時預かりが必要とされる中、利用ができない会員の対応として他の預かり機関を案内し、連携を図り個々のケースに対応をしていった。

(2) 港北区地域子育て支援拠点どろっぴ(港北区地域子育て支援拠点委託事業)

- ①親子の居場所：多様な親子のニーズが増える中、同じニーズ、共通課題を持つ親同士のつながりを作るためのプログラムを構築し、親同士が支え合える場としてのコーディネートを実施。利用者が得意分野を活かし、居場所の環境作りから参画できる場所を提供し、共に創る場であることを投げ掛けてきた。昨年度は、ひろばでのより密な交流を図るためスタッフトークセッションの実施。日常の気軽な交流、居場所の充実を図るためにひろばサポーター制度も導入した。
- ②情報収集・提供：地域訪問では拠点があつた情報を持参し、来所が困難な方も含めて必要な情報が入手できるように配慮。イベントではスタッフが外向くと同時にパネル展示も行い、拠点の周知に努めた。ココメール・子育て支援者メーリングリストの周知も行い、区内での子育て支援に関わる登録者数を拡大した。
- ③ネットワーク：港北区拠点ネットワークぎゅっとが結成され、区内の地域子育て支援を俯瞰して実践者同志が連携しながら団体間の学び合いを始めとする情報交換や子育て環境育成が共にできる基盤ができた。子連れお出かけマップも着手していなかったエリアや改訂する地域への働きかけ協力をした。
- ④子育て相談：状況に応じて個別相談につなぎ、その後のフォローについては、相談スタッフとの連携の中で進めている。乳児を持つ家庭へのプログラム、被災者の方のためのサロンも継続実施した。8月には、臨床心理学会に参加。
- ⑤人材育成：地域振興課と連携し、孫育て講座を実施。講座後に、どろっぴ利用の親子やボランティアとの交流を図る梅散歩企画も実施した。たかたんのうち、よってこしもた、ツチノコネット、常設ひろば開設に向けて動いていた団体への支援も継続実施。サークル活動紹介冊子、障害児自主訓練会・グループのちらしを発行。担い手や関係機関との連携を図った。
- ⑥子育てサポートシステム：25年度末の港北区会員数は1469名。全市内の約15%を港北区が占めた。月1回の入会説明会は毎月前月時点で定員に達し、1月～3月の繁忙期は臨時日を設け月2回入会説明会を行った。その他緊急時では個別説明で対応した。出張説明会は、地域ケアプラザや地区センター、つどいのひろばなどで行い、合計8回実施。会員相互のコミュニケーションは交流会を年2回実施。通信は3回発行した。

2. 子育て支援に関する事業

(1) 預かり保育「まんまーる」

菊名から大倉山に場所を移し、曜日コースも前期は週3日(火・木・金)・後期は週4日(月追加)と拡大。スタッフはほとんどが新しいメンバーという状況の中、手探りながらも一歩ずつ確実に、新たな預かり保育の場『まんまーる』を作り上げてきた一年だった。隣接するたんぼぼ保育園園長でもある白瀧理事の助言や、たんぼぼ保育園との交流保育によりスタッフ自身も学びながら、びーのびーのとして行うべき預かり保育の形が見えてきた。後期より一時預かりをはじめ、そのニーズを確信し、1月からは年齢対象を1歳児～に引き下げた。グループ保育・一時預かり共に、利用した保護者の声から必要性の大きさを感じ、スタッフとしても大いにやりがいを感じている。

3. 子育てに関する地域の情報発信

(1) 出版・制作・企画事業

- ①びーのびーの幼稚園・保育園ガイド」の発行事業(年1回)：2014年度入園版発行(5月24日)。2500部/210ページ/830円 掲載園：港北区全域、鶴見区・神奈川区・都筑区・緑区・川崎市の一部の幼稚園。港北区全域の保育園。
- ②制作：パンフレット、HP、チラシ、名刺など作成。イベント担当(たんぼぼ保育園、横浜市幼稚園協会都筑支部、横浜市幼稚園協会、内閣府子ども・子育て支援新制度勉強会、NPO法人アクションサポート横浜)
- ③書籍販売：総計11冊販売
- ④びーのびーの通信を年10回発行。

(2) インターネット事業

- ①港北区子育て応援マップココマップ(ウェブサイトの編集・制作・運営)：港北区社会福祉協議会委託事業。編集会議/月1回。更新/トップ24回、イベント・クチコミ情報48回、特集ページ、季節情報など6回。
- ②トレッサ横浜HP内「とれおんパーク」ブログ記事制作トレッサ横浜委託事業：掲載内容事前打合せ(月1回トレッサ横浜)。ブログ以外の連携：イベントの協力、プロモーションビデオ撮影協力など。記事：計159本。

(3) 事務請負・コンサルティング事業

- ①子育てタクシー：サンタクシー株式会社による「子育てタクシーサービス」と提携。連絡会開催、各種研修などの連携、意見交換、イベント・朝礼への参加。子育てタクシーかわら版編集。
- ②子どもと保育総合研究所事務局：夏季全国大会(8月17日、18日)、冬季セミナー(1月11日、12日)、ニュースレター2回発行、研究報告書1冊発行。

4. 子育てに関するセミナー・イベント・調査等の企画実施

- (1) 菊名WARA・びー実行委員会「打ち水大作戦」に参加 (2) 絵本の会 (3) ひろば人事業

5. 上記の事業を行うために必要な一切の活動

- (1) インターン制度：ポラリーグ★こうほく事業を中心に、イベント開催、学生ボランティア説明会開催と受入れフォロー。NPO法人アクションサポート横浜から長期インターン1名、短期インターン3名を受入れ。
- (2) 法人事務局：総会の開催・労務・会計・対外的な窓口、法人内の会議などのコーディネート。

◆2013 年度活動計算書(2013.4.1～2014.3.31)

経常収益の部

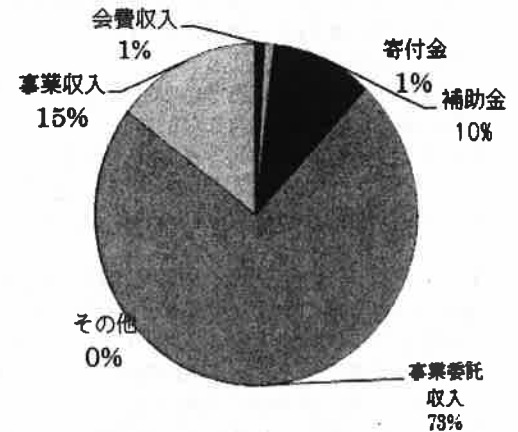
経常収益の部

会費収入	631,000
寄付金	676,661
補助金	6,728,000
事業委託収入	49,105,509
事業収入	9,792,000
その他	6,679
経常収益合計	66,939,849

経常費用の部

事業費	62,291
管理費	3,898,965
経常費用計	66,190,658
当期経常増減額	749,191

単位(円)



◆2013 年度 ひろば利用実績

活動場所	開館日数	入会者数	のべ利用者数			1日平均子ども利用者数
			子ども	親等	合計	
おやこの広場びーのびーの	234日	78人	4,545人	3,463人	8,008人	19.4人
どろっぷ	246日	1,637人	16,915人	14,738人	31,653人	68.8人
総計		1,715人	21,460人	18,201人	39,661人	88.2人

◆2013 年度 ボランティア活動実績

活動場所		活動時間	延人数
おやこの広場びーのびーの	一般・親子ボランティア	700時間	214人
	学生ボランティア	737時間	204人
どろっぷ	一般・親子ボランティア	1,719時間	731人
	学生ボランティア	369時間	96人
総計		3,525時間	1,245人

【年間総計】

- 一般・親子ボランティア
2,419時間 延べ945人
- 学生ボランティア
1,106時間 延べ300人

◆あたたかいご支援ありがとうございました。

2013年度 寄付金・協力を頂いた方々 (敬称略 五十音順 びーのびーのスタッフ・ボランティアを除く)

- ・池本直美
- ・市川マヤ
- ・伊東弘子
- ・伊藤絵里
- ・緒方かや子
- ・川島敏子
- ・川中香奈江
- ・久保田章
- ・高坂千晶
- ・関澤有香
- ・関谷容枝
- ・田島昌子
- ・西島康子
- ・古田直文
- ・眞壁佳緒里
- ・吉竹雅子
- ・山口素夫
- ・米本正明
- ・和田美和

びーのびーのバザー&フリーマーケット等へ参加して下さった皆様へも心より御礼申し上げます。